



# もり の き はなし 森林木の譚

二十一世紀の森づくりシリーズ 9 1

## 七月の木の花

ムクゲ。「道端のムクゲは馬に食われたり」と松尾芭蕉の句を上げました。



馬が好んで食べるのか、よくわかりません。「暑い夏の道端にあったムクゲの木を馬が食べているよ、喉が乾き、腹もへっているのだろうか？ 私も同じなんだけどもあ。」といったところでしょいか？ 暑い夏の道端で、誰もが感じることを句にしています。炎天下のムクゲの花は何色であつたろうか？ と想像してしまします。

ムクゲは白・ピンク・青紫とその中間色が沢山あります。ハイビスカスと同じ仲間、よく見ると花の形

などはほとんど変わりませんが、区別は葉でするのが簡単です。芙蓉の大きな葉に対して、ムクゲの葉は小型です。花は典型的な一日花で、朝咲き夕方にはしぼんでしまします。

樹形のままに多くの花を付けている木を見ますと、大変綺麗です。私は、ムクゲの花を思うときには、どうしても夏の昼下がりや連想し、ニイニイゼミやアブラゼミの鳴き声が聞こえてきます。

町内にもたくさん植えられています。以前、美術館の上り口に珍しい肉色の花を付ける、ムクゲがありました。いつの間にか根元から切られてしましました。

（自然教育林事務局長）

◆ 珍しい木・想い出の木・不思議な木・植物好き・花好きなど木にまつわるおもしろい話を教えてください。

▼連絡先 歴史民俗資料館  
☎ 932・6312

## 歴史民俗資料館

### 昔の生活民具シリーズ：53

#### すり鉢とすり粉木

すり鉢は、食品を入れて、すりこぎですりつぶすのに用いる、日本独特の調理器具、漏斗状の重い土焼き製で内側にすじめがある。

すり粉木は、すり鉢で物をすりつぶすときに用いる棒。山椒の木や桐がもちいられたとあります(大辞林)。

これを思い出したのは、我が家のは、イリコを焼いてすりつぶした味噌仕立て、青じそや白ゴマ、薄く切ったキュウリも入っていました。これをごはん(麦飯)にかけてよく食べました。食欲のない暑い時期には冷たくて絶品、美味でした。二杯、三杯とお代わりしたのを憶えています。



(館長)

## シリーズ「なるほど共育」

近年、住民のみなさんから寄せられる、環境についての苦情や問い合わせが多くなっています。内容についても、多種多様となっています。そこで、今回からみなさんからの問い合わせに対する、情報をお知らせしていきます。

### 第1回 人と犬の共生

犬の祖先は狼といわれており、群で生活する動物でした。

犬は、人間のパートナーとなった初めての動物で、石器時代から共存してきました。

犬は、人間の約600倍の嗅覚を持つことから、猛獣や外敵が近づくと、人間よりも先に気づき、人間を

守ってきました。そのため、犬と共存するまでの人間は、猛獣や外敵の心配にさらされ、現代の人間と比べ極端に睡眠時間が少なかったといわれています。

しかし、犬を飼う(共生する)ことには、さまざまなメリット・デメリットがありますが・・・

#### メリット

- ・かわいい、癒される
- ・寂しさがやわらぐ・番犬になる

#### デメリット

- ・人に吠える・噛みつく
- ・人を追いかける・放浪する
- ・どこにでもフン、尿をする

#### デメリットは正しい飼い方・しつけでほとんど改善ができます

犬は、人間よりも4～5倍のスピードで年をとります。また、人間にとっては、「誕生・子育て・死・共同生活・社交性など」、人生の大切なことを教えてくれる先生です。

大切に育ててあげましょう。

#### 犬の成長(犬の種類などにより差があります)

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 1年で・・・  | 人間でいうと約17歳           |
| 2年で・・・  | 人間でいうと約24歳           |
| 3年以降・・・ | 人間でいうと約4歳のペースで年をとります |

## そこで!”犬を飼う時の6つのルール”

犬が好きな人ばかりではありません。犬が嫌いな人にとっては放し飼いをされている犬など、とても恐ろしい存在です。

また、犬のフンについての苦情(自分の家の前にはフンをさせないのに、道路や他人の家の前にはさせる!・・・臭い!・・・自分のことばかりで、責任感がない!・・・犬の毛をブラッシングし、そのまま放置するなど)が年々増えています。

### 問題の解決は、飼い主本人の“モラル”しかありません

まず、自分のことばかりではなく、犬が嫌いな人や相手のことを考えて、他人に迷惑や危害をおよぼすことのないように、十分な心配りと正しいしつけが必要です

#### その一 しつけ

愛犬も社会の一員です。きちんとしつけをして他人に迷惑を掛けないようにしましょう。正しいしつけは、飼い主と愛犬の信頼を深めます。

#### その二 最後まで面倒をみる

愛犬もいつかは亡くなります。最後を看取ってあげることは、ゆるぎない信頼を寄せてくれた愛犬への恩返しです。

#### その三 狂犬病予防注射を接種する・畜犬登録する

狂犬病は、人間にも感染し、発病した場合は100%死亡するという恐ろしい病気です。狂犬病予防注射は毎年1回、登録は生涯に1回行うことが義務付けられています。

須恵町では、毎年4月および5月に町内数会場で、狂犬病予防注射の実施、および畜犬登録を行なっています。実施日程などは、広報紙でお知らせしております。お電話など(役場保健環境課 ☎ 932-1151)でもご確認ください。

#### その四 不妊・去勢手術をする

繁殖を望まない場合には、飼い主の責任で繁殖の制限をしましょう。不妊・去勢手術は、犬に害があるものでなく不幸な犬を作らないための最良の方法です。また、手術を受けることにより、次の利点があります。

#### その五 つないで飼う

敷地内ですなぐか、逃走しないよう柵などを設置して飼いましょう。万一、放し飼いにより他人を傷つけたりすると大変です!放し飼いは、条例で禁止されており、散歩のときも、引き綱を付けて行いましょう。

#### その六 フンを持ち帰る

散歩中の愛犬のフンは必ず後始末しましょう。犬は、自分で片付けることはできません。飼い主が責任を持って、持ち帰りましょう。

#### オス

●性格が温和になる●尿によるマーキングが減る●むだ吠えが減る●メスを求めている家出が減る●しつけがしやすくなる●睾丸腫瘍など多数の病気の予防ができる

#### メス

●望まない妊娠、出産を防止する●生理がなくなることによりオスが寄ってこなくなる●子宮蓄膿症(4歳以上に多発)など多数の病気の予防ができる